

第3回地域デザイン推進連絡会議

平成28年度ファシリテータ派遣事業及び地域づくりインターンシップ

2017.2.21
地域づくりインターンシップ
実施報告

弘前市常盤野町会
事務局 高田敏幸



春の水芭蕉沼から岩木山



夏の水芭蕉沼から岩木山

平成28年度常盤野地区インターシップ実施報告

募集要項

- 目的:津軽の象徴「岩木山」の懐に抱かれた自然豊かな常盤野地域において、若者の就労体験を通し、地域との交流と定住の未来を模索し、持続可能な地域づくりを進めます。
 - 就労実施期間 : 8月 2日～7日
 - 就労先 : 3日間程度農業やサービス業の職場での体験を受け入れてくれる、常盤野町内の農家、旅館、商店等
 - 就労内容 : 就労賃金は、概ね6時間労働をしていただき3,000円支給します。その他、昼食、休憩の飲み物等提供します。
- * 8月7日に常盤野小中学校にて夕涼み会に参加し交流を深めます。

若者就労交流支援事業就労受け入れ先募集！



農家での就労支援体験



旅館での就労支援体験

就労実施期間 : 8月 2日～7日

就労先募集 : 3日間程度農業やサービス業の職場での体験を受け入れてくれる、常盤野町内の農家、旅館、商店等

募集定員 : 10ヶ所程度の農家、旅館、商店等

就労内容と条件 : *就労賃金は、概ね6時間労働をしていただき3,000円支給してもらいます。その他、休憩の飲み物お菓子など出していただければ嬉しいです。

*期間中に学生達と受け入れ先との地域交流会を行います。

*8月7日に常盤野小中学校にて夕涼み会に参加し交流を深めたいと考えています。受け入れ先は交流会に参加いただきますようお願いいたします。

募集結果

受け入れ先:

岩木青少年スポーツセンター食堂
山のホテル
ペンションワンダーランド
以上3事業所のみの実施となる

受け入れ学生:

弘前大学学生6名、青森大学1名合計7名の
応募をもらう。直前になり2名キャンセルで
弘前大学学生5名で実施した

事業成果.評価

◆受け入れ側

1)受け入れ側となる農家、旅館の体制、思想の未熟さがあった。

2)結果的に旅館2件、事業所1件合計3件と少なかった。

どこも繁忙期なはずで、人手は欲しいはずであったが。

労働対価としては助成事業でもあり、とても安い賃金設定だと思う

3)農家の受け入れやすい体制を整えて実施した。

ワンダーランドに宿泊と食事を任せ、受け入れ先は就労に集中できるようにした。

4)交流会への参加を呼び掛けた。

この点も今一つ理解が深まらなかった。(面倒だということか)

◆学生について

- 1)事業期間が学生さん達の夏休みとうまくマッチングできなかった。
- 2)応募者が少なかった。
- 3)参加者全員、積極的で一生懸命であった。受け入れ先は、とても労働力となり助かったようだ。



◆反省点

- 1) 募集を早く実施すべきだった。
- 2) 受け入れ期間を学生さんのニーズに合わせる必要があるそう。
- 3) 受け入れ先農家、旅館への理解を得る努力が不足していた。
- 4) 一部ただの労働力と受け止める点もあり、その辺を受け入れ側にしっかり理解を得る必要があった。
- 5) 受け入れ先件数が少なかったため、旅館、食堂の二通りの就労し
かできなかった。
- 6) 夏の暑い時期と重なり、かなり学生さんたちにとっては、厳しい労働
となった。

◆良かったと思われる点

- 1)就労以外の時間において、地域住民(特に若者達)との交流が随時行われており、今後につながるものとなる。
- 2)就労と宿泊食事を分けたところは、就労先も負担が少なくなり、よい方法だと思う。



◆今後の展望

少子高齢化、人口減少が加速する中、若者の就労の姿は、地域にとってとても新鮮で頼もしいものです。旅館も嶽キミ農家も繁忙期には、猫の手も借りたい状況にあるので、今後は、インターンシップ受け入れ先セミナーの様な講習会の開催し、受け入れ側の役割や心得等ご理解をいただきながら、多くの受け入れ先と学生さんの参加を呼び込みたいと考えております。

当地区の旅館関係のサービス業には、後継者がいないところが多く、今後インターンシップを通し後継者としての若者移住確保といった点も重要になるものと考えています。

ありがとうございました。 終わり



初冬の水芭蕉沼から岩木山



雪に覆われた水芭蕉沼から岩木山